

がん患者自殺に関する定量的評価とその対策：Kanagawa Shanghai 比較共同研究に関する研究のお知らせ

神奈川県立保健福祉大学ヘルスイノベーション研究科では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間	2020年6月1日～2023年03月31日
研究課題	がん患者自殺に関する定量的評価とその対策：Kanagawa Shanghai比較共同研究
研究の概要	<p>目的及び意義：本研究では、日本におけるがん登録先進県である神奈川と、中国において数少ないがん登録の整備されている地域である上海市それぞれのがん登録のデータ解析より、両国のがん患者の自殺者がどのような属性を持ち、どのような自殺形態をとっているのか記述的な研究を行うとともに、国内一般集団と比較したがん患者の自殺リスクを一般人口との標準化死亡比などを用いて明らかにする。これにより、がん患者自殺対策における基礎となる知見を得ることを試みる。</p> <p>対象：神奈川県悪性新生物登録事業もしくは全国がん登録によるレジストリーに登録された1990年1月から2019年3月までの神奈川県全住民。 上海市の行う悪性新生物登録事業のレジストリーに登録された1990年1月から2019年3月までの上海市民。</p> <p>方法：地域住民ベースのがん登録データベースを使用した後方的データ解析研究</p>
研究組織	<p>研究代表者 ヘルスイノベーション研究科 教授 成松 宏人</p> <p>研究分担者 ヘルスイノベーション研究科 講師 中村 翔、講師 渡邊 亮 他</p>
個人情報の取扱い	<p>がん登録は行政が主体で行う事業であり、匿名化は行政の責任で行う。匿名化されたのちに、申請者（神奈川県データのヘルスイノベーション研究科の本研究計画の研究者、上海市データは復旦大学の本研究計画の研究者）が匿名化情報を受け取る。データはパスワードのかかった媒体で受け取るといった、各がん登録で定められたセキュリティ規程に従った形態で受け取る。受け取ったデータは申請者らの所属する研究機関の各研究室に設置されている、パスワード管理されたコンピューターで保管される。データの解析は匿名化された状態で、上記研究室のコンピューターにおいて行う。データの利用は研究分担者のみに限定する。</p> <p>本研究の公表に際しては研究対象者が特定できる形では行わない。</p>
その他	

対象となる方で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。ご協力よろしくお願い申し上げます。

〔問い合わせ先〕

研究代表者：ヘルスイノベーション研究科 教授 成松 宏人

研究分担者：ヘルスイノベーション研究科 講師 中村 翔、渡邊 亮

TEL：044-589-8100（代表）〔内線 204〕